

市政ぎふ未来

市議会 Report

No.11

謹賀新年
 今年も岐阜市の未来に責任ある市政が進められるよう活動してまいります。引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。
 市政ぎふ未来一同

発行日：2014年1月10日
 発行者：市政ぎふ未来
 〒500-8701 岐阜市今沢町18
 岐阜市議会 第6議員控室
 TEL058-265-4141 内3383・3384

岐阜市の未来に向かって着工・竣工次々と



◀11/16 東海環状自動車道
 岐阜地区本体工事着工式



▲12/21 岐阜市民病院改築整備事業完成記念式典



◀12/7
 ぎふメディアコスモス せせらぎの並木テニステオ完成開通式



10/19▶
 国道156号線岐阜東バイパス開通式

12月定例会市議会

補正予算など24議案可決
 岐阜市子ども・若者総合支援センター
 条例制定

平成25年11月26日から12月12日までの定例会市議会において補正予算案4件、条例制定案10件、人事議案2件、その他案4件と委員会及び議員提出意見書4件、計24件を可決し閉会しました。



▲4月より旧明徳小跡に開設の子ども・若者総合支援センター

未来に向けた予算要望

12月12日、市政ぎふ未来の来年度予算要望書を岐阜市長に提出しました。市政ぎふ未来は、毎年この時期に市民の願い・要望を5つの委員会毎に項目をまとめ、実現を目指し提出しております。



▲市長へ市民の願いを

▼12/18 若手市長を交えての意見交換会



改革の実りを市民へ
 11月1日、私たち市政ぎふ未来は、着実に成果を上げ続ける現市長の改革の継続を支援することを機関決定しました。
2月2日 岐阜市長選挙

議会質問

- 今議会には、20議員が質問、市政ぎふ未来からは全員が登場しました。
- 市議会ホームページでは、議会質問の様相を録画中継でご覧になれます。



代表質問12月4日
 石井浩二議員

Q1 新市庁舎建設について
【A. 市長】
 ●本庁舎は築後47年が経過し老朽化が進んでいる。アスベストが大量に使用されており大地震で建物が損傷した場合には飛散し市民に被害を及ぼし災害応急活動の拠点として使用できなくなる。32年度末までに工事を完成させると返済額の70%が国から交付される合併特例債が使える等の理由で来年度中に一定の方向決定が必要である。しかし何より重要な事は市民の皆様の理解や合意形成を図ることである。

Q2 岐阜市庁舎ありかた検討委員会について
【A. 企画部長】
 ●まずは、建て替えの必要性の是非から議論していただくこととしており、建て替えありきの委員会ではない。

Q3 「私の約束」(マニフェスト)の進捗状況について
【A. 市長】
 ●4年前のマニフェストにおいて7つの政策の柱を示し144の事業等を実施し、その進捗状況を検証し結果を公表してきた。またマニフェスト以外にも様々な実績を残し概ね市民の皆様の期待にお応えできたと思っている。総括として「財政基盤の確立」「未来の礎の確立」「先送りしない行政の確立」に取り組みたいと確信している。

Q4 市内業者の活用について
【A. 市長】
 ●市内業者の活用及び健全な発展が重要であると考え、入札参加資格者や指名業者の業者選定については履行可能な案件は市内業者に発注するなどしている。今後は、請負工事や業務委託の対象となる各種の業界団体などからの意見を聞く場を設ける。

Q5 電子黒板の活用について
【A. 教育長】
 ●11月25日までに全市立小中学校・特別支援学校に設置完了し、教師による技術的の差はなく授業が進められており、子どもたちは「授業が楽しい」「わかりやすい」と言っている。3学期には全小中学校において実施される授業参観で公開予定である。活用頻度が上がるにつれて点数があがるという報告がある。

Q6 岐阜市子ども・若者総合支援センターについて
【A. 福祉部長】
 ●子ども・若者が抱える問題に対し総合的な支援を行うため従来の縦割り組織を変える。4月の開所に向けて、安心して相談でき、相談者の思いを大切にしたい支援が出来るよう、更に運営について検討を重ね、しっかり機能するように努めていく。



一般質問12月4日
 信田朝次議員

Q1 岐阜市公共施設白書の市民への情報提供方法は
【A. 企画部長】
 ●2年前の信田議員の公共白書の必要性のご指摘で、検討を開始し、将来に備えた総合的対策検討の基礎資料として完成させた。
 ●公共施設の配置見直しや統廃合など、市民の皆さまのご理解を得られるよう、ホームページ掲載だけでなく更に情報提供を考えていく。

Q2 市税等公金の徴収率を向上させるため、実績を上げた他市のように公金徴収一元化をしてはどうか。
【A. 財政部長】
 ●未収金回収は喫緊の課題。岐阜市でも過去、市税や国保料の一括徴収していた時期もあったが成果が上らなかった。

Q3 市内でも建築が進められるサービス付き高齢者向け住宅の現状について
【A. 福祉部長】
 ●サービス付き高齢者向け住宅は、「高齢者の居住安定確保に関する法律」で規制された高齢者のための住宅で、バリアフリー構造、見守り・生活相談サービスが備わり、外部や併設の居宅介護サービスを受けることができる施設で現在市内には19棟657戸ある。

Q4 市内の太陽光発電設備の設置状況と農地への設置は
【A. 自然共生部長】
 ●住宅用太陽光発電設備補助は、平成21年度から本年10月までに3,153件実施した。公共施設への設置は小・中学校18件を含む46の市施設に導入した。

Q5 全国の鶺鴒の中での長良川鶺鴒のシェアと他実施地区と提携しての観光客誘客は
【A. 商工観光部長】
 ●全国に12か所で鶺鴒が開催され岐阜市は50%シェア。
 ●全国に鶺鴒ファンを増やすための共同キャンペーンに取り組んでいく。



一般質問12月6日
 松原和生議員

Q1 異常気象時等の児童生徒の学校待機について
【A. 教育長・都市防災部長】
 ●岐阜市では登校後の全ての警報発令時に、学校待機を原則とするよう改め、保護者に引き渡すこととした。連絡が取れない場合でも、最後の一人まで教職員の管理のもとで預かる。先日、市内の高校で、落雷で全ての電気が1日止まり、トイレの水の汲み上げも出来なかった。様々な事態を想定し、地域の災害用備蓄品の活用など都市防災部との連携も含め、しっかり対応する。

Q2 長良川中流域の文化的景観選定と地域住民の生活について
【A. 教育長・副市長】
 ●長良川中流域における岐阜の文化的景観の、国の重要文化的景観選定は、東海地区で初。重要な構成要素の修繕に国の補助が得られる。観光面での宣伝効果も期待できる。今後は、関係部局の連携を図りながら、この選定を活用するとともに、鶺鴒のユネスコ無形文化遺産登録への足掛かりとしたい。

Q3 有害鳥獣駆除に対応する猟友会の支援について
【A. 農林部長】
 ●農作物に被害を与え、市街地にも出没するイノシシなど有害鳥獣の捕獲は、猟友会の協力が不可欠だが、会員数の減少と高齢化が進み、今後の継続的な捕獲の実施が心配される。講習会の講師を猟友会に委託するなどイメージ向上、箱罠の購入支援などを行っている。山間部では市職員が狩猟免許を取得する、「公務員ハンター」を養成する動きもあるが、現時点では困難。他市の事例を参考に、猟友会への新たな支援策の研究や効果的な有害鳥獣駆除のあり方を検討したい。

Q4 徹明小・木之本小・本荘小校区が通学する中学校について
【A. 教育長】
 ●名鉄岐阜駅前から市民病院の先まで歩くのが、徹明小校区から本荘中に通学する生徒の現状。中心部に土地が無いため我慢を強いられてきた。昨年、伊奈波中と明郷中へ川南から通学する生徒の状況が、金華小と京町小の統合で誕生した敷地への岐阜中央中の建設で解消した。徹明小と木之本小の統合の話があるが、同様にして3小学校区を中心とする木之本小敷地に、中学を移設すれば解消できる(隣接公園と合わせ面積を確保)と提案したのに対し、「小学校の統合場所を2校で議論中であり、地域・保護者の意見を聞きながら、子ども達にとって最善の利益は何かという点から判断したい」ということです。